

トンネルの効果的かつ効率的な維持管理

トンネルを取り巻く環境は、ストックの増加、老朽化、厳しい財政状況など近年急激に変化しています。限られた財源と管理体制の下、効果的かつ効率的な維持管理を行い、既存トンネルを長期にわたり安全で快適な状態でトンネル利用者に提供することが要求されています。

私達エーティックは、各種調査、計測技術をベースに最適な維持管理手法の御提案までトンネル技術をトータルでサポート致します。

エーティックがお客様のニーズに沿った計画を御提案致します。

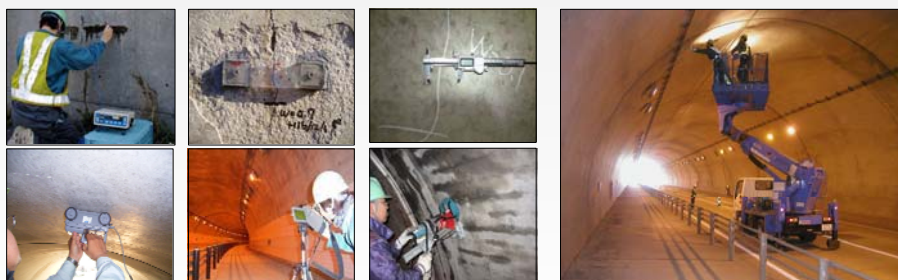
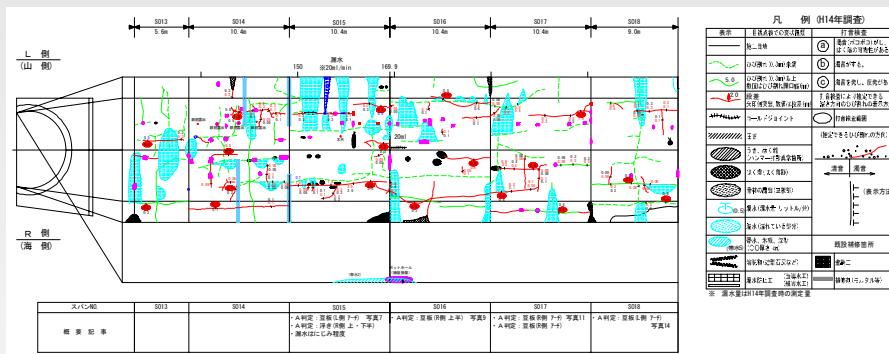
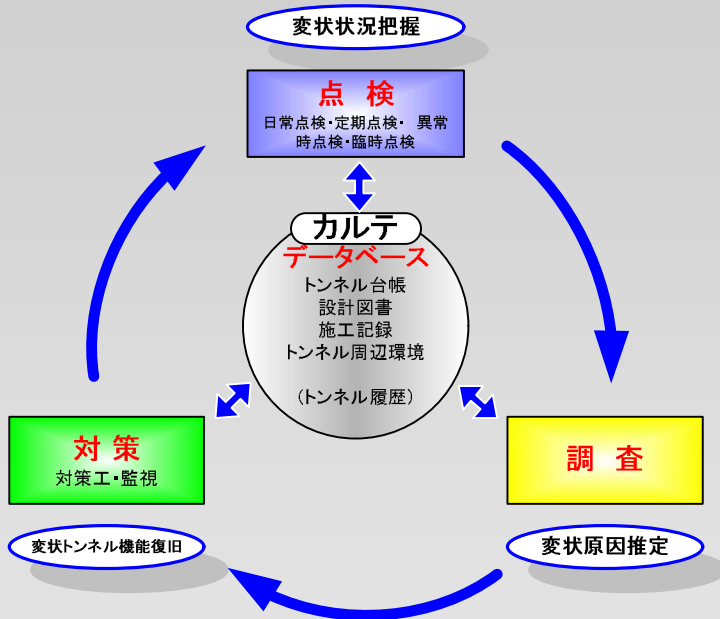
維持管理の基本的な考え方

維持管理の基本的な考え方

トンネルは完成後の改築が困難であるため、維持管理の役割は重要です。

維持管理の基本は、道路トンネルとしての機能を確保するためにトンネル構造の安全性、耐久性に影響する変状について点検・調査によって十分に把握し、適切な対策を講じることにあります。

トンネルの維持管理を行う際の手順は、点検、調査、対策の大きく3種類に分けて考えられます。これらの点検、調査、対策は実施時期や内容に応じてさらに分類することができます。



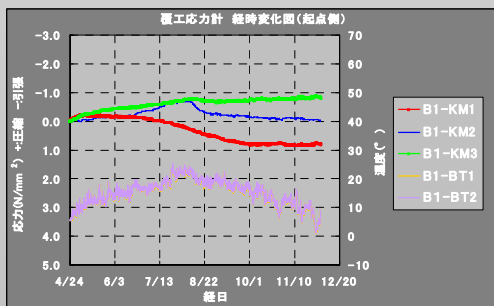
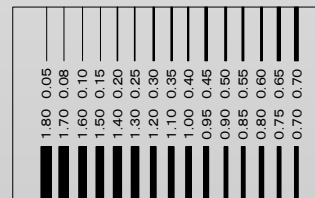
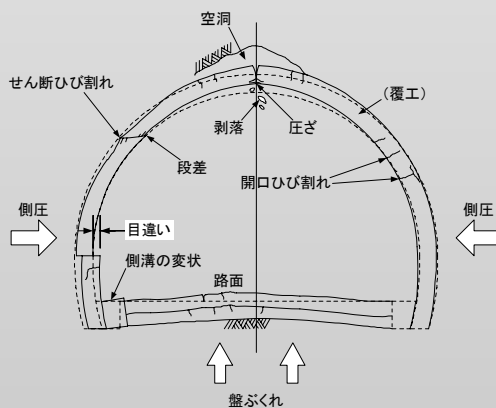
調査・対策の考え方

○調査 調査の目的は、点検により発見された変状の状況および程度をより詳しく把握し、対策の必要性およびその緊急性を判定するとともに、対策を実施する際にはその設計・施工のための資料を得ることです。調査は、その実施内容や実施時期等により、標準調査と詳細調査に分類します。

○対策

トンネル維持管理における対策は、点検・調査により発見された変状による損傷部分の補強、補修や変状を排除するなどの方法により、トンネルの機能を復旧することにあります。対策の種類としては、次の2種類に大別します。

- ・変状などが生じたトンネルの各部分を正常な機能を発揮するように補修することを目的に実施する工法。
- ・変状などが進行し続けた場合やトンネル構造物に悪影響を及ぼす規模、範囲が著しく大きな場合などに用いられる大規模な対策工法。



株式会社 エーティック

札幌本社

代表

TEL (011) 644-2845

FAX (011) 644-2895

営業企画部

TEL (011) 644-2851

FAX (011) 644-7754

東京支店

TEL (03) 5907-6271

FAX (03) 5907-6274

東北支店

TEL (019) 638-9927

FAX (019) 638-9975

URL <http://www.a-tic.co.jp>

E-Mail info@a-tic.co.jp